

世界人道デーにおけるナダ・アル＝ナシフ国連人権副高等弁務官の挨拶

2025/08/19

国連人権高等弁務官事務所

2003 年 8 月 19 日のバクダッド国連本部ビル爆破事件の犠牲者を追悼する世界人道デーに寄せて。

「他者のために命をなくした人びと、そして、危険な状況下で働いている数多くの同僚たちに私からも敬意を表します。近年、国際法を完全に無視し、ジュネーブ条約に違反し、世界人権宣言のもとでの保護を無視して、人道活動家に対する攻撃と殺害は増えています。食料を盾にしたり、医療への民間人のアクセスを妨害したりすることは、戦争犯罪です。民間人を標的にした攻撃は国際法の重大な違反であり、止めなければなりません。この複雑で困難な状況を乗り越えるために、私たちは団結して、国際基準、規範、そして価値を擁護しなくてはなりません。すべての加盟国、そして戦時国際法の遵守に責任ある者は、そうした法則が常に遵守されるようにしなくてははいけません。国際法は任意ではありません、今は困難だからやめておこうという贅沢品でもありません。国際人道法・人権法は、悲惨な状況と犠牲から生まれました。今日、そしてこれからも、世界の人道・人権のために、多国間主義と屈強で活気ある国連のために、すべての人道活動家と連帯していくことを新たに誓います」。

【記事全文】 [DHC Al-Nashif on World Humanitarian Day: “International law is not optional”](#)